

菅政権は何を目指すのか

時事通信社解説委員
山田 恵資

やま
だ
けい
すけ

- *コロナ感染の現状
- *菅首相のベストシナリオ
- *理念を封印した中曽根
- *五輪中止なら退陣
- *4人のキーパーソン
- *外交関係は停滞
- *正義に向き合う政治を
- *目線合わせない菅氏
- *二階氏は観光族
- *踏み込んだ予算は無理



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、時事通信の山田さんにおいていただき
ました。改めてご紹介の必要もないかもしれ
ませんが、1958年のお生まれで、上智大学
から時事通信へ行かれ、現在解説委員をされて
おられます。テレビやラジオ等でも活躍でご
ざいます。

菅政権が発足してかれこれ2カ月ちよつとに
なりますが、今の政権がどうなっているか、わ
れわれ外からは見にくいところがございますし、
来年は選挙とか総裁選とかがございますので、
政局が大きく動く可能性もございます。そうい
ったことも含めて、今日は政治のお話をしてい
ただきたいと思えます。

山田 恵資
それでは山田さん、よろしくお願いいたしま

す。（拍手）

コロナ感染の現状

山田 こんにちは、時事通信の山田でござい
ます。早速ですが、コロナの新規感染者の推移
を見ると、4月の山の後、二つ目の山が8月に
あつて、今は11月からの三つ目の山になつてい
ます。

4月ごろの山というのは、まだPCR検査が
あまり普及していなくて、本当に症状が重たい
方、37度5分あつても4日間症状が続かなけれ
ばPCR検査ができない方々に限定されていま
した。逆に言うと、保健所が検査をする段階の
ときは、かなり黒に近いという方の数字です。

今現在、PCR検査の普及率は高いわけですが、